

令和4年度第4回大正区区政会議

日 時：令和5年2月16日（木）

午後6時30分～午後8時27分

場 所：大正区役所4階大正区民ホール

○大津区政企画担当課長

皆さん、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまから令和4年度第4回大正区区政会議を開催させていただきます。本日は公私何かと御多用の中、御出席をいただき誠にありがとうございます。

本日の司会を務めます区政企画担当課長の天津でございます。どうぞよろしく願いいたします。それでは、着座にて失礼いたします。

午後6時30分現在、区政会議委員定数13名のうち出席者は12名となっており、委員の2分の1以上の出席がございます。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項に基づきまして、本会議は有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

本日の会議につきましても、これまで同様、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施させていただいておりますので、御理解と御協力をよろしく願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、大正区長の古川より御挨拶申し上げます。

○古川区長

皆様、改めましてこんばんは。大正区長、古川でございます。今回は今年度最後の第4回区政会議ということで、本当に寒い中お集まりくださいましてありがとうございます。

今年1年議論してまいりました大正区の将来ビジョンでございます。2025という年次はちょうど万博の開催される年でもございまして、その前年ぐらいまでがちょ

うど私の任期であるということもありまして、令和5年からの3カ年の計画ということで、若干中期の計画に絞り込んで柱を立て、皆様とともに練り上げてきたビジョンでございます。こちらにつきまして、今までいただいた意見を総括していただき御意見をいただくとともに、よりよい大正区をめざして皆様とともにつくった柱が事業、施策という形で織り込まれていくように、このビジョンのほかにも大正区運営方針、そして事業・業務計画書について併せて御提案させていただくところでございます。

ビジョン本体につきましては、前回第3回にいただいた意見等を反映しております。例えば外国人への対応ですとか、健康長寿に向けた健診の受診率なども項目として追加させていただきました。皆様の御意見、本当にありがとうございました。

今日の御議論を踏まえまして、令和5年度が新たなビジョンの1年目、スタートラインとなりますので、皆様、大正区の区政について、これからも一緒に見守っていただければ幸せでございます。

今日は実りある議論をお願いいたしたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

○大津区政企画担当課長

ありがとうございました。

次に、会議の進行につきましては、お手元に配付の資料、並びにあらかじめお送りさせていただきました資料を基に進めさせていただきます。各議題に入ります前に、その都度資料の確認をさせていただきますが、事前にお送りさせていただいた資料をお忘れの方がいらっしゃいましたら、予備を御用意しておりますのでお申しつけください。

次に、本日の会議は全て公開とさせていただきます。本日の会議録や撮影させていただきました写真等は、後日、区のホームページ等で公開させていただきますので、御了承ください。

それではここで、お忙しい中、オブザーバーとして御参加いただいております皆様

を御紹介させていただきます。

小山市会議員です。

○小山市会議員

よろしく願いいたします。

○大津区政企画担当課長

出雲市会議員につきましては、遅れて到着と聞いております。なお、金城府議会議員、川岡府議会議員におかれましては、公務により御欠席と伺っております。

それでは、本日の議事に入らせていただきます。ここからの議事進行につきましては議長をお願いしたいと存じます。

竹村議長、よろしく願いいたします。

○竹村議長

皆さん、こんばんは。本日の議事進行は着座にて進めさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

それでは、早速ではございますが、議事に入らさせていただきます。議題1、大正区将来ビジョン2025（案）について、区役所から説明をお願いいたします。

○大津区政企画担当課長

それでは、議題1、大正区将来ビジョン2025（案）について御説明いたします。

事前に送付しております書類番号1、大正区将来ビジョン2025（案）、それと本日配付させていただきました書類番号1-1、横書きの「大正区将来ビジョン2025（素案）」に対する御意見と大正区の考え方、書類番号4、区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答をお手元に御準備ください。

それでは、説明のほうを始めさせていただきます。

前回会議におきまして御議論いただきました内容やパブリックコメント等を反映し、大正区将来ビジョン2025（案）を策定いたしましたので、委員の皆様には御議論いただきたいと思いますと考えております。

なお、本件に係る事前質問の回答につきましては、書類番号4の1ページから3ページにかけて書面にて行っていることから、詳細の説明については割愛をさせていただき、後ほど区の回答に対しての御意見もお伺いしたいと思っております。

それでは、まず、将来ビジョン2025（案）について御説明をさせていただきます。前回の会議におきまして、将来ビジョン2025（素案）の概要については御説明をさせていただきましたので、今回は前回の会議の素案から変更した点を中心に御説明をさせていただきます。

それでは、お手元に書類番号1、大正区将来ビジョン2025（案）を御用意ください。

まず、3ページから4ページにかけて、「はじめに」のところがございます。こちらにつきましては、大正区の成り立ちから現状、そしてこれまでの大正区役所としての取組から、この将来ビジョンにて目指すべき将来像とその実現に向けてどのようなことを行っていくのか、また、大阪・関西万博に向けての取組やSDGsの理念にのっとり区政の運営を行うといった内容を記載するなど、素案より構成と内容を大きく見直しまして、修正をいたしております。

次に、前回の区政会議にて角元委員より、外国人に対する対策が少し見えないという御指摘を踏まえまして、まず8ページを御覧ください。8ページの上段に大正区の外国人人口推移の統計のデータと、その分析内容を記載いたしました。

続きまして、20ページを御覧ください。20ページの（5）人権の尊重のア、現状と課題のところなんですけども、たくさん段落があるんですが、上から6つ目の段落、「また、明治時代以降」から始まる所と7つ目の段落、「2025年の大阪・関西万博」から始まる所なんですけども、こちらにつきましては外国人に関する現状と課題として記載をいたしまして、ウの施策の（イ）に外国人に対する偏見や差別の解消を目指して人権啓発活動に取り組むと記載をいたしました。

続きまして、43ページを御覧ください。43ページの（3）施策のところなんで

すけども、こちらは情報発信・伝達力の強化に対する施策でございますが、施策がア、イ、ウと3つあるんですけども、ウのところが多言語や「やさしい日本語」を用いて分かりやすい情報発信を行うと記載いたしました。

最後に、45ページを御覧ください。45ページの(3)施策の欄ですけども、こちらは区役所職員のスキル向上に対する施策でございますが、こちらにも、御来庁いただいた外国人に対しましても多言語や「やさしい日本語」を用いた対応を行っていくと記載いたしております。

続きまして、姉川委員より、健診の受診率の目標値について明確に記載したほうがいいのではという御指摘を踏まえまして、17ページを御覧ください。17ページのエの施策目標のア、イ、ウ、エとあるんですけども、(エ)特定健診、がん検診受診率の現状値と目標値のほうを記載させていただきました。

前回、委員の御意見を踏まえまして訂正した箇所は以上なんですけども、申し訳ございません、1か所訂正をさせていただきたいところがございますので、御説明をさせていただきます。

24ページを御覧ください。24ページで、ここは地域安全防犯対策のところを記載しておるんですけども、ここのアの現状と課題のところ、大正区では重点犯罪発生件数が最も少ない区であるということで、その根拠といたしまして、その下に令和3年重点犯罪発生件数という見出しの表を掲載しておりました。実はこの件数なんですけども、大阪府では、大阪府警のほう为重点犯罪としまして、強制性交等、強制わいせつ、公然わいせつ、痴漢、自動車等車上狙い、部品狙い、特殊詐欺、以上を重点犯罪として指定をしているんですけども、この表の件数は、これらの重点犯罪以外の全ての犯罪、例えばひったくりであるとか、路上強盗であるとか、全ての犯罪の件数を含んだ数になっているということが分かりました。先ほど申しました重点犯罪のみの発生件数については、区ごとのデータというのは公表がされていないということも分かりましたので、ここでは重点犯罪発生件数とあるんですが、重点をとって、犯罪

発生件数ということで修正のほうをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

ここの訂正によりまして、書類番号4の区政会議委員からの事前質問回答・意見に対する回答の2ページなんですけども、姉川委員より、重点犯罪とは云々の御質問をいただきまして、重点犯罪の説明は今申しました説明を書かせてもらっているんですが、重点犯罪について大正区が少ないというのはどういった要因ですかというところは、犯罪発生件数が大正区が最も少ない要因についてということで回答のほうを書かせてもらっておりますので、よろしくお願いたします。

変更点につきましては以上でございます。

最後にもう一点になりますけども、前回のこの会議で御報告させていただきましたけども、将来ビジョン2025の素案のほうにつきまして、広く市民の皆様から意見をいただくために行いましたパブリックコメントに対する御意見を2件いただきましたので、その御意見に対する大正区の考え方について御説明をさせていただきます。

お手元に書類番号1-1、大正区将来ビジョン2025（素案）に対する御意見と大正区の考え方を御用意ください。

パブリックコメントの趣旨につきましては、2件ともまちの活性化に関する御意見でございまして、具体的には、大正区の活性化には交通インフラ、電車の整備が必要ではないかという意見でございました。

大正区の考え方といたしましては、この表の右の欄になるんですけども、電車の整備がされることで大正区の活性化に少なからず影響があると考えておりますが、長堀鶴見緑地線の延伸につきましては、大阪市鉄道ネットワーク審議会による答申におきまして「収支採算性は累積欠損を解消できない」ということで、現在のところ実現の見通しは立っておりません。よりまして、大正区役所といたしましては、来年度も引き続き、現在、千島公園一体で行っておりますマルシェや、空き家まち歩き等の社会実験を引き続き行いまして、大正区のエリア価値を向上させ、新たなにぎわいと活力

を生み出してまいりたいと考えているところでございます。

説明は以上になります。

○竹村議長

ありがとうございます。

ただいまの区役所からの説明がありました大正区将来ビジョン2025につきまして、皆様から事前にいただいた質問、意見を含め議事を進めたいと思います。何か質問、御意見ございませんか。

事前に質問のあった姉川委員さん、何かございませんか。

○姉川委員

大体もう事前質問で回答をいただいているので、特にというところはないんですけども、犯罪の部分は調べてたら自治体ごとに違うというのが分かったので、どれを指しているのかというのがすごく気になったので、「重点」が抜けても少ないというのはすごくいいことだなと思ってまして、やっぱり町会の加入率というのがそこに結びつくというのは、僕もあまり結びつかなかったので、そういう視点もあるのかなと思っていました。

それに関連するか分からないんですけども、まちづくり実行委員会というのは、多分ほかの区では、地域活動協議会とかそういうものなんですよ。ある程度は分かってたんで、改めて詳しく知っておけたらよかったかなと思っています。

ここに書かれているみたいに、僕は西区に住んで、町会とかまちづくり実行委員会の活動が本当に見えないんですよ。あったのかなと思って今ネットで調べたら、自分の地域にも実はあったんですね。それに参加するって言ったら盆踊りぐらいかなって。それも連会長会がやってると思ってたんですけども、地域では地域活動協議会が主催してやっているというのが載ってまして、そうやったんやって。何で知らなかったのかなと思ったら、大正は今すごくまちづくり実行委員会ごと、地域ごとにSNSの発信をされていますよね。それがすごく目に入ってくるので、大正区の地域の方は

すごく頑張っているんじゃないかなというのが見えています。ちなみに、僕の地域のフェイスブックとかないかなって調べたらなかったんで、そういうところで見えないというのは、住んでる者としては不安やなって思います。なので、どんどん地域のほうで発信してもらえたらいいのかなと個人的に思いました。ありがとうございます。

○竹村議長

ありがとうございます。

ほかにどなたか御意見ございませんか。

石田委員さん、何かございませんか。

○石田委員

適宜回答いただいているので、これはこれで納得しています。防災の件で質問させていただいた件で言うと、そもそも自分が泉尾病院にいるといったところもあったり、そこで災害対策委員をやったり、大阪府の災害医療コーディネーターをやっているという観点で言うと、やっぱり大きい病院が災害時にどう動くのかというのを区役所自身も知っといてもらったほうがいいのかというのはあるんですね。連動の訓練が必要って書いたのはもちろんそうやと思ってて、シミュレーションなんかしたら全然機能せえへんのもよく分かってて、それもそうなんですけれども、病院自体がどういうふうな取組をしてて、区民をどういうふうに受け入れようとしているのかみたいなところを区役所自身が把握していただいたら、よりスムーズな連携ができるのかなというふうに考えます。

以上になります。ありがとうございます。

○竹村議長

角元副議長。

○角元委員

先ほど姉川委員がおっしゃった地域活動協議会の活動が見えないというのは、もととその場所にいてた人というのは、知る機会というのが、お父さんであったりお母

さんからずっと長年続いているというのはあると思うんですけど、引っ越してきた人は絶対に見えないと思うんですよね。あの人引っ越してきたらしいでって言って、アプローチの仕方はいろいろあると思うんですけど、今の私たちより若い家族世代の人たちは、この地域で何かやってるのかなってインスタグラムを見たりとか、ツイッターを見たりというのが意外と主流なんかなと思っているので、本当におっしゃったようにSNSを使った活動で、若い人らでも、特に最近のZ世代なんかは、CSRとか社会貢献に対してすごい積極的な考えであったりとか、活動をやっていくような人が多いというのは、就職採用の担当をしている自分から見てすごい感じる部分があります。会社のそういう活動を見て選考を希望しましたっていう方が結構いらっしゃるのので、その活動を、地域だけじゃなくて区役所もリツイートするであったりとか、フォローバックするというようなことをやれば、相互的なものというのが生まれるんじゃないかなというふうに思っています。

あとは、外国人のことを付け足していただいたということで、大津さんが説明していただいたということは、すごいいいなというふうに感じておりまして、前回よりも分かりやすくなったのかなというふうに思っています、会議の内容自体が。それは特に、僕たちは青年部というふうに称して前もってやるということ、それを主流にしようというつもりは一切なくて、特に御先輩方が参加するというのが一番メインな会議だと僕は思っているので、そういう方々が前もって見れない、忙しくて見れないとか、時間がなくて見れないということはどうやったら解消できるかなということ考えたのが、変わったところを説明してくださいというところにつながるかなと思ってますので、一度このメンバーで始まった一発目に僕がけしかけて、結構炎上したみたいになったと思うんですけど、そこの解決策の1つなんか、こういうふうに変ったんやって思ってもらえれば、より参加した意義というか、こういうふうにして会議で言ったことが変わったんやなということで、皆さん納得できるのかなと思ったんで、自分でも分かりやすかったんで、よかったなと思いました。

長くなりましたが以上です。

○竹村議長

ありがとうございます。

事前に質問がなかった土井委員さん、何かございませんか。

○土井委員

パブリックコメントに対する回答で、こんなん突っ込んでええんかどうか分からないんですけど、何番でしたっけ、資料。

○角元委員

1-1。

○土井委員

1-1、ありがとうございます。まちのエリア価値を向上させつつ書いているんですけども、やっぱりインフラとすごい相関的なものがあるんじゃないかなと思うんです。電車っていうのは大がかりなインフラなんで、大正区だけで決めることもできませんし、というのは重々承知なんですけども、であれば、今すごい大活躍しているバスをもうちょっとフィーチャーして、これだけ便利だぞみたいなのをね、実際僕バス乗らないからかもしれないんですけど、バスで迷子になりがちなんです。泉尾の家に帰るのに裏通りに連れていかれたり、住んでいる僕もそうなんで、そこまで便利やなって思う人の率って実際どうなんかなって思っちゃうんですね。これを何かのいい解決策で、こんなに使いやすいんだみたいな、こういう周知ができれば、仮に電車がなくても、インフラが整っているまちだというのを打ち出せたりするのかなと思いました。このパブリックコメントに対して大正区の答えが答えになってないやんって、この意見してくれた人に思われるんじゃないかと思って、今ちょっと生意気を言わせてもらいました。

以上です。

○竹村議長

ありがとうございます。

それでは、柘委員さん、何かございませんか。

○柘委員

今回、大正区の将来ビジョンの中で外国人のことについて光を当てていただいて、日本語教育機関における者としては非常にありがたいお話だなと思って拝見させていただきました。外国人に対する差別の解消であるとか、すごくうれしいのが区役所の職員の方も「やさしい日本語」を使っていただけるとか、サービスの向上をめざしていただけたということで、非常にありがたいお話だなと思います。今後も引き続きお世話になっていきたい、ありがたいお話です。ありがとうございます。

あと、2025年のエキスポなんですけれども、最近ホテル業界、アルバイトとかで募集がたくさん来たりするんですけれども、弁天、港区とか、そちらのほうはあるんですけれども、大正区にそういったホテルとか、そういった誘致とかはされないのかなど。インバウンドが戻ってくる中で、そういう業界も活性化できないのかなという感想を持っております。

○古川区長

それでは、少し質問部分がございましたので、私から回答させていただきます。

インバウンドは、もちろん大阪市においては、本当に活性化策の第一番、目の前にすぐつかめるチャンスというふうに私は考えております。実際、コロナ禍になる前は、かなりインバウンドによって大阪の地価、地価は上がるのが必ずしもいいとは限らないという前回の御意見もありましたけど、いわゆる市場価値としての大阪の価値が上がったという部分は実際にあると思います。だから、外国人頼みの経済になり過ぎないかという点も逆に心配なんですけど、そうは言っても目の前にあるチャンスはつかんでいくのが商売というか、経済の鉄則なので、本当でしたらつかみたい。ですけど、大正区の駅前って土地がほとんどないんですよ。某ホテルさんが1件、しっかり頑張っておられますが、そこには「ドーム前」という名前がついていたりとか、

ちょっと寂しいなという感じもあって…。やはり大きな土地と、それから良好なアクセスが揃っていないとなかなか誘致までは持っていけないので、これが我々大正区民としての悩ましいところです。やはり区全体のうちの端をかすめている大阪環状線、この特徴的なアクセスがネックになって、いわゆる海に近いほうのエリアにそういうものを誘致しても、採算というか、効率性が悪いという判断を事業者さんはされているのかなと思っております。なので、もう少し抜本的な何かがないと、大正区全体へのホテル、あるいはインバウンドを含めた来阪者、あるいは大阪への来街者という言い方もします。この辺を獲得していくには、もう少し抜本的な何かがないといけないかなと常々思っております。まだ妙案はございません。すみません、答えになっていきますでしょうか。よろしく願いいたします。

○竹村議長

姉川委員さん、それでよろしいですか。

○姉川委員

ありがとうございます。

○竹村議長

それでは、南委員さん、何かございませんか。

○南委員

南です。先ほど角元さんが言われたように、どんどん僕らの意見とかも取り入れてもらっているので、どんどん質問がなくなっていますが、いい感じになっていっていると思うんですが、さっきのインフラのところでいくと、レンタル自転車とかそんな感じでどんどん増えているんですけど。僕は駅前に住んでいるので、ドームで何かイベントがあるときの駐車場は周辺全体が埋まっているんですけど、大正区、もうちょい南に行ったら駐車場がいっぱいあるんですけど、そこに呼び込めてないのかなと。駐車場に呼び込めたら、そこから自転車で行けるでみたいな形にすれば、周辺の混雑もましになるし、大正区にお金が落ちるし、何ならその近所の飲食店に入ってもらえ

るかもしれないしみたいなところで、駐車場マップみたいなやつを配るとか、そういうことをすれば、ちょっとは大正区が潤うのかなと思ったりなんかも。電車を通すというのはかなり難しいと思うんですけど、電動アシスト付き自転車ならば、43号線ぐらいからなら難波ぐらいまでずっと行けちゃうのかなと思いますので、レンタル自転車やったら駐輪場の問題もそこまで要らないのかなというところもあるので、その拡充があればいいのかなというのを思いました。

もう一つ、全然関係ない話なんですけど、ビジョンの中の目標値というのをどうやって決めているのかなというのが、全部何%アップとかで決めてるのかなと思ったら結構全部ばらばらですし、これ理由は書いてますけど、37ページの4番のイとかは現状値よりも目標値が下やったりとか、市全体の目標値をここに書いてますみたいなことが書いてあるんで、理由は分かるんですけど、現状より下の目標値書くべきのかなとか、今よりよくしたほうがいいんじゃないですかと思いつつ見ていたんですけど、というところで、目標値の決め方というところがちょっと気になるなというところなんです。

あと、最終ページの区役所の窓口のサービスの格付、これも何で決まっているのかな、しかも、これパソナの話やからあまり区役所関係ないんじゃないかなと思いつつ、パソナさんに頑張れっていう話なのかなと思いつつ見ていたんですけど、以上です。

○大津区政企画担当課長

目標値につきましては、区役所が行っている区民意識調査や、市民局が行っている区民アンケートというのがあるんですけども、そういった調査結果の数字を参考にしながら成果目標として使っているのがほとんどでございます。当然現状の数値より、3年、4年後なので、高い数字というのをめざすようにしていますが、大阪市全体でめざしている成果目標もありますし、区役所としてめざしている数値もございます。まちづくり実行委員会のところは、大阪市で市政改革プラン3.1というのがあるんですけども、そこで全市的な目標がこの数字になっていまして、大正区は既に超えて

いるんですけども、オール大阪の目標に合わせているという形になっております。

○南委員

維持するという感じの意味合いですか。

○大津区政企画担当課長

はい。

○長瀬総務課長

格付につきましては、これは民間のほうで、それぞれのフロアの職員の対応であるとか、電話対応とか、市民対応の接遇とか、そういったものを覆面で調査に来られて、その評価で出されています。星2つというところで、3つがかなり、民間のある施設と比較してもかなり高度なというか、そういったところをめざして、3つということで取り組んでいきたいというふうに考えてございます。ですので、パソナというか、区役所職員の全体の接遇を評価していただいているということでございます。

○南委員

ありがとうございます。

○竹村議長

ほかにどなたか御意見ございませんか。

堀江委員さん。

○堀江委員

前回2回欠席しまして申し訳ございません。反省の意味も込めて、角元さんの話じゃないですが、全部これもう一回読み直していろいろ勉強しました。年寄り忙しいと皮肉のように言われたが、あまり忙しくないんで、その気があまりないだけの話で、それは反省しております。全部読んで、どなたがつくられたんか、すばらしいなと思って、本当に感心しております。

その中で一番気になったのは、自助、公助いろいろある中で、まず自助と共助ですか、公助っちゅうのがなんせ一番抜けてしもとると。これはそのとおりでございます

て、実際に動いているのは、どちらかといいますと仲田さんとか松村さんのような地域の女性の方が動いていただいて、やっけていただいているのが大半でございます、町会長は男ようさんおりますが、いざというときはなかなか小まめには動かんのが現状でございます。口ばかりかなと反省はしておるんですが、これだけ自助共助と言われますと、我々町会長としては、地域振興会としては物すごいプレッシャーで、実際我々の町会の連合会長でも、僕が75、もう6になるんですが、もう次を探さないかんという時代で、僕はいつも思うのは、定年は今でしたら65ですか、そんな方たちがずっと入れるような何かをしていかんと、やはり50代で町会長になろうかという方もおられたりしながらしていかんと、この先5年、10年というのは直にたってしまうから、そこらはやっぱり考えていかんと。例えば回覧板1つ回しとけば、区としては全部回ってるやろという、実際にはほんまに三十何%か、書いてましたけども、見ているようで見ていないのも事実です。やらんよりはましですけど。

さっき角元さんおっしゃったように、うちも回覧板を全部LINEに載せて、まだ人数が50、60とかまだまだ少ないんですが、それをどんどん増やして、若い子がそれで回覧板、また「こんにちは大正」を見てくれるような地域にしようということをやっているんですが、我々ぐらいの年齢の方は、スマホでこんな小さい字は伸ばしてやっているうちにどっか行ったちゅうもんで、できないのが現状で、あんな小さい字は本当に見えへんわけです。伸ばしているうちに邪魔くさくなってくるということで、どっちも合わせていかなあかんと思いますけど、だから、僕は例えば市役所、市の方とか、大阪市に何万人もおられるわけです。それが地域に、例えば大阪市内に分散すれば、たくさん大正区でもおられるわけですから、そういう方が定年された後に、一番分かっている方ですから、そういう方をどんどん地域に紹介して、地域の活性化に役に立つようなことも考えていかんと、この自助、共助って言うてもなかなかね、もう我々が人助けるって言うても人抱えられへんです、本当のところ。

防犯のことでいろいろやろうと言ってやっていますけども、そういう時代になってる

のが、高齢化率が大正区が一番多いとかいうのが書いてましたけど、そこらも真剣に考えていただかんと、今日も訃報を聞いたりして、70歳で長をやられた方が亡くなったとか、そんな時代ですから、僕もいつぽこんと逝くか分からんなどと思いがながら、これ読みながらいろいろ思った1日やったんですが、そこらは市のほうも考えていただいて、一番残念なのは、3年間のコロナでPTA活動がないまま来ましたから、いつもですとPTAをやっていたいただいた子の何人かは地域の子ども育成会に入っただいて、また次にということ。コロナでぽこっと開いてしまって、PTAさんと地域との輪がなかなかとれなかったのが残念やなということが一番あるんですが、取り留めのない話になりましたが、時間はありますので、僕らも勉強をまたやりますんで、すみません。それだけ、ちょっと。

○竹村議長

ありがとうございます。

まだ地域の方も意見があると思いますけど、時間に限りがありますので、発言できなかった意見は、後日、御意見シートにて提出をお願いしたいと思います。

それでは、これにて議題1を終了させていただきます。大変貴重な意見をいただいたと考えます。本日の内容をもとに今後、大正区将来ビジョン2025の策定に生かしていただきたいと思います。

それでは、次の議事に移らせていただきます。

議題2、令和5年度大正区運営方針（案）及び予算（案）について、区役所からの説明をお願いいたします。

○大津区政企画担当課長

それでは、議題2、令和5年度大正区運営方針（案）及び予算（案）について御説明をいたします。

事前に送付しております書類番号2、令和5年度大正区運営方針（案）及び書類番号4、区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答、また本日お手元に配付いた

しました書類番号5、令和5年度大正区関連予算（案）概要を御準備ください。

皆さん、資料のほうはよろしいでしょうか。それでは、御説明をさせていただきます。

大正区将来ビジョン2025は向こう3年間の計画を示すのに対しまして、運営方針は単年度、1年ごとにおける施策の選択の集中ということで、全体像を示す方針といたしまして、大阪市全体で毎年度、どこの所属も策定しているものでございます。

なお、令和5年度大正区運営方針（案）につきましては、前回の会議におきまして御議論いただきました素案のほうからの変更はございませんので、説明については割愛させていただきます。

なお、本件に係ります事前質問の回答につきましては、書類番号4の4ページにおきまして書面にて行っていることから、詳細の説明につきましては割愛をさせていただき、後ほど区の回答に対しての御意見をお伺いしたいと思っております。

それでは、令和5年度の予算（案）につきましては、総務課長の長瀬より御説明申し上げます。

○長瀬総務課長

皆様、こんばんは。予算編成を担当しております総務課長の長瀬でございます。

令和5年度の大正区予算（案）について御説明をさせていただきます。それでは、座って説明をさせていただきます。

個別の事業につきましては、次の議題3の事業・業務計画書に記載しておりますので、そちらにお譲りしますとしまして、私からは令和5年度の大正区予算の全体像及び重点的に取り組む事業について説明をさせていただきます。

書類番号5を御覧ください。上のほうの予算編成に係る考え方、全体予算の概要などの四角囲みをしている上段あたりに記載がございますように、今般、新たに策定します大正区将来ビジョン2025において記載をしておりますとおり、そこに書いてますように4つの柱と、4つの柱を支える共通の取組で施策を展開してまいります。

1つ目の柱が健康で安心して暮らせるまち「大正」ということで、主に福祉、健康、生活保護、人権、2つ目が地域で支えあう安全なまち「大正」ということで、防災、防犯、空き家対策、それから3つ目の柱がこどもの未来が輝くまち「大正」ということで、主に子育て、見守り、4つ目の柱がにぎわいと魅力あふれるまち「大正」ということで、主にまちの活性化、ものづくりなど、そしてこの4つの柱を支える共通の取組としまして、主に地域活動、広聴、広報、窓口サービスといった施策のほうを展開してまいります。

続きまして、その下ですね、区長が関与する予算額としまして、その下の大正区関連予算として太いゴシックのほうで記載しておりますとおり、その額は総額で8億7,800万ほどになってございます。そのうち区長自由経費ですね、これは区長の権限によりまして、区役所が実際に実施する事業予算でございしますが、この区長自由経費が3億2,400万強となっております。この区長自由経費は、後ほど主な増減項目の説明時に少し詳しく説明をさせていただきますけれども、昨年度の令和4年度が2億9,800万でございましたので、この5年度は昨年比べて2,600万円ほど増加をしてございます。予算は増加をしてございますが、これは電気代をはじめとする光熱費の高騰による区庁舎の設備維持費であるとか、住民情報の業務の民間委託の増など、そういったものが大きな要因となっております。

それから、その下の行に記載しております区CM自由経費ですね、これは5億5,400万強となっております。この区CM経費でございしますが、これは区長の権限によりまして、大阪市の部局であります、例えば建設局とか環境局とか、そういったいろいろな局があるんですけれども、こういった局が実施する事業予算でございまして、この分野では区長の部下に局の職員がなっております、区長が部下である局に指示して行うという、そういった立てつけの予算でございしますが、この区CM予算は昨年度より700万程度減っております。この内訳につきましては後ほど御説明申し上げます。

次に、おめくりいただきまして、裏面を御覧ください。令和5年度に重点的に取り組む事業ということで、5つの事業を掲げております。

上から順番に説明させていただきますと、1つ目は学習・登校サポート事業でございます。これは2つ目、次に記載しておりますこどもサポートネット事業の対象者のうち、不登校など課題を抱えて支援が必要な生徒を対象に学習支援や登校支援を継続的に行って、学習機会を創出するものでございます。その下、右の下のほうの工夫点のところに記載してございますとおり、令和5年度には家庭・学校以外の場である居場所を大正区内に設置しまして、一人一人の状況に応じたきめ細かい支援のほうを行ってまいります。この事業につきましては昨年度に比べ460万程度予算を増額して、1,781万1,000円を計上してございます。

2つ目が就学前（4・5歳児）こどもサポートネット事業でございます。これは「大正区版ネウボラ」というふうに書いてございますけども、この「ネウボラ」というのはフィンランド語で「アドバイスの場」を意味する総合的な子育て支援制度という意味でございますけども、これは妊娠期から中学生までの全ての子供への切れ目のない支援を進める上で、4・5歳児に専門の推進員を配置し、引き続き、健康状態や生活環境を把握して支援につなげる仕組みを構築するといったものでございます。この事業には794万円を計上してございます。

3つ目は、エリア価値の向上に向けた地域活性化事業ということで156万2,000円を計上してございます。令和4年10月から千島公園で定期的を開催しております「マルシェ」でありますとか、空き家リノベーションの可能性を探る「まち歩き」を引き続き実施してまいります。令和5年度以降も継続的な取組となりますよう社会実験を行いまして、民間主体で自律的・継続的にエリア価値の向上が図れるように支援をしてまいります。

それから、4つ目がコミュニティ育成事業といたしまして、647万円を計上してございます。地域コミュニティの充実とコミュニティ同士のつながりをより一層強め、

持続可能な活力ある地域社会を構築し、愛着を持って住み続けられる大正区とするため、区民まつりやスポーツ大会、スポーツの集いなどを実施したく、今後調整を図ってまいります。

最後に5つ目、地域防災対策事業としまして、514万9,000円を計上してございます。地区防災計画に基づく自主防災組織の体制整備を図るとともに、その下の工夫点に記載しておりますとおり、災害時避難所に必要な資材等の配備でありますとか、医療機関と連携した医薬品のローリングストック。ローリングストックとは、使ったら使った分だけ新しく買い足して行って、一定量の物品を提供するという方法でございますが、こういった取組を進めまして、地域防災力の向上を図ります。

以上、この5つの事業に重点的に取り組んでまいります。

それから、次の2枚目、3枚目には、区長自由経費予算（案）と区CM予算（案）につきまして、令和4年と5年を対象して棒グラフで示してございます。先ほど申し上げましたとおり、2枚目のほうでございますけれども、区長自由経費は令和4年度につきましては、棒グラフの下のほうに記載しておりますとおり2億9,800万円でございましたけれども、5年度は3億2,400万ということで2,600万程度の増ということで、先ほど申し上げましたように電気代であるといった光熱費の高騰による維持費であるとか、住民情報業務の民間委託の増などがございます。それから、今重点的に取り組む予算の1つ目で説明しました学習・登校サポート事業が460万程度の予算の増ということで取り組んでまいります。

一方、予算が減っている事業としましては、一番下の行に記載しております、今の重点のところにもありましたけれども、エリア価値の向上に向けた地域活性化事業が4年度から5年度に予算が減額となつてございますけれども、実はこの事業は昨年度が新規の事業でございまして、昨年度は初期費用としてブースのテントとか物品購入であるとか、そういった初期投資のイニシャルコストを計上しておりましたけれども、2年目の5年度はそういった初期投資費用が不要となったため、その部分が減額となつ

ているものでございまして、令和5年度に必要な経費については、4年同様の計上をしているものでございます。

それから、下から3つ目の項目ですね、ものづくり企業活性化事業が68万3,000円から23万8,000円に減額となっておりますが、これはアルバイト人件費の減額によるものですが、令和5年度には引き続き、事務局で不足のないように対応してまいる所存でございます。

それから1枚おめくりいただきまして、3枚目ですね。こちらは大正区のCM予算(案)の比較でございます。先ほど申し上げましたように、区長の権限で部下職員である局の職員が実施する事業でございますけれども、この予算がそこに書いてますように、令和4年度の5億6,100万から5年度には5億5,400万と700万ほど減少してございます。

この大きな減額項目でございますけれども、上から2つ目、右の主な増減の2つ目の公園施設整備(安心安全・リフレッシュ)の事業が652万6,000円ということで、これは1,470万円の減額となっておりますけれども、この減額の理由でございますけれども、公園の施設整備につきましては、3年に一度、集約的に工事を実施するために大阪市の24区を3グループに分割して、年度ごとに8区の公園整備と8区の公園設計を順繰りに行うものでございまして、すなわち3年ごとに順繰りに公園整備を行うということで、令和5年度は少ない年に当たるということで、こういった金額になっているという理由でございます。

ほかの項目につきましては、また改めて御覧をいただきますようお願いいたします。

以上、令和5年度の大正区関連予算につきまして、重点的に取り組む事業や予算額の推移につきまして概要の説明をさせていただきました。よろしくをお願いいたします。

○竹村議長

ただいまの区役所からの説明がありました令和5年度予算(案)や大正区運営方針につきまして、何か御質問、御意見などはございませんか。

角元委員さん。

○角元委員

書類番号5の区長自由経費予算（案）についてということでグラフがあるんですけど、これの下側、TUGBOAT__TAISHO運営事業とものづくり企業活性化事業という、この4つ並んでいると思うんですけども、そのうちの2つ、TUGBOAT__TAISHO運営事業、これが令和5年であると金額が増額しているという、それは何で上がっているのかというのが聞きたいのと、あと音楽振興事業というのは、今20万6,000円というのがそのまま据置きであるんですけども、それは今どういう事業、昔はT-1でしたっけ、そういうのがあったと思うんですけども、それに近いことをされているのかなというふうに思ったので、その内訳を教えてくださいたいです。

○長瀬総務課長

ありがとうございます。このTUGBOAT__TAISHO運営事業でございますけれども、これはTUGBOAT__TAISHOの河川占用料ですね、あそこの水面の占用料でございます、これは大阪府の予算でございます、民間事業者からいただいたお金が大阪市を通りまして大阪府のほうに納めているということですので、土地代を事業者からいただいて、大阪府にそのまま納めているという分でございます。

それから、音楽振興事業でございますね。これは区役所コンサート開催経費でございます。

○竹村議長

角元委員さん、よろしいですか。

石田委員さん、何かございませんか。

○石田委員

ありがとうございます。予算について、前年度っていったところも、ここはこうじゃないかみたいな感じで突っ込んだんですけど、予算には限りがあるというのもこの

前勉強させてもらいましたし、これはこれで僕はこういうことなんだろうなというふうな形で、しっかり説明も書かれているというのと、理解しやすい言葉になっているというので、僕はこのままで納得いけるかなって思っております。ありがとうございます。

○竹村議長

ありがとうございます。

ほかにどなたかございませんか。

○土井委員

不勉強なもので教えてほしいんですけども、シティ・マネジャー予算についてなんですけど、公園施設整備とか計上しているじゃないですか。建設局とか環境局とかに指示するときの費用としてという説明やったと思うんですけど、もちろん各局でも予算を組んでると思うんですけども、そっちの予算で僕は公園整備とかをしていると思ってたんですけども、それとはまた別なんでしょうか、大正区のシティ・マネジャー予算に入っている公園管理作業ですとか。確かにさっき大阪市建設局のホームページを見ていたら、予算の備考のところにCMって書いてたんで、シティ・マネジャーかなと思って見てたんですけども、どういう関係性になるのかなと思って、これを機に教えてもらおうかと思ひまして、よろしくお願いします。

○古川区長

それでは、区シティ・マネジャーの私から回答させていただきます。

シティ・マネジャーというのは、局を統括して、ニア・イズ・ベター、地域のことは地域が決めるというのを実現するために、私が区長の立場で局に指示して事業をやらせるみたいな、そういう立て付けですけども、その中で例えば、3枚目についている公園施設整備、さっき総務課長から説明があったところですけど、安全安心・リフレッシュが1,400万円減りましたと。この部分につきましては、安全安心・リフレッシュという項目立てにして、地域が自分で優先順位をつけたり、そういうこと

ができる予算になっています。ですので、例えば大きく市道をつくるとか、同じ建設局でも道路整備など基幹的インフラの整備みたいなものは局が予算を執行し、それは私が指揮しません。だけど、地域に特化した事業、地域で優先順位を決めたり、やるやらないをそもそも決めたりできるものについては、区長の目を通して建設局に予算が配付されている形になっております。項目が幾つかに分かれていて、区長が指揮してもよいものだけがここに載っているという立て付けになっています。

○土井委員

ありがとうございます。

○竹村議長

角元委員さん。

○角元委員

この区長とシティ・マネジャーが分かれてるって大阪市だけの仕組みですよ。実際、大阪市の中で区長とシティ・マネジャーと別れている区ってあるんですか。

○古川区長

別の人がいるっていうことですか。

○角元委員

はい。

○古川区長

シティ・マネジャーは全部区長が兼務することになっています。

○角元委員

なっているんですか。分かりました。ありがとうございます。

○竹村議長

ほかにどなたか御意見ございませんか。

姉川委員さん、何かございませんか。

○姉川委員

すみません、僕も不勉強で全然分かってなかったんですけど、区長自由経費ってもっと自由に使えるものやと思ってました。事業に対して経費ということなんですよ。前田課長に笑われそうですけど、子供の事業に重点的に予算も配分されているなと思いつつ、子供を呼び込むには自由経費を使って転居祝いとか、小学校上がったら入学祝みたいなのを区としてそういうのができるのであれば、いっぱい子供来るのかなとか勝手に思ってたんですけど、事業に対してという感じでよろしいんですかね。区で勝手にそういう事業をつくるというのは、やっぱり自治体というものではないから難しいということになるんですかね。大阪市横並びの事業にしないといけないということになるんですかね。

○古川区長

とてもいい質問で、私が一番日々悩んでいることです。つまり、区長自由経費として配分されている額というのは、結局、歳入と歳出のバランスで大阪市予算が決まりますので、区役所に相当する部分の歳入をみんなで山分けして、山分けは言葉が悪いですよ、24区で人口規模ですとか、道路の面積、公園面積、そういういろいろなものを加味して割り返して配分されるので、大正区はすごく小さいんです、自由経費部分が。

その中で、いま御説明したとおり、来年度予算で3億2,400万円とありますが、このうち半分ぐらいが庁舎管理と住民情報の委託、これで消えちゃいまして、あと地域活動に対する補助金、いわゆるまちづくり実行委員会に出す補助金とか中間支援組織を維持する予算で、これも4,000万ぐらい消えてしまう。ということで、自由経費という名前がついているんですけど、意外とがちがちに用途が決まっていて、自由に使えるのは、私が簡単に説明しますと、音楽の振興事業ですとか、エリア価値の活性化事業とか、下のほうにちょこっと書いてある部分ぐらいだと思います。なので、この辺で毎年苦勞しながらも、いろいろな事業をちょつとずつやっているというのが自由経費の実態です。

ただ、5年度とても評価していただきたいというか、胸を張りたいのは、一番上の事業ですね、学習・登校サポート事業。これは自由経費の中でも局から付けてもらう予算なので、基本的にはなかなか増減をとりにくいんです。それを、区政会議委員の御意見も頂戴しながら獲得した「居場所」という概念を、何とか予算につなげたいなということで担当課長が頑張ってくれまして、ここはとても額が増えたということで、いわゆる不登校対策に来年度は少し力を入れられるなというのが胸を張りたいところでございます。これが実態です。

○竹村議長

姉川委員さん、よろしいですか。

○姉川委員

はい。

○竹村議長

ほかにどなたか御意見ございませんか。

柘委員さん、何かございませんか。

○柘委員

予算のところで、防犯とか交通のところで考えていたんですけども、来月ぐらいからですかね、ヘルメット着用する努力義務といいますか、そういうところで区役所さんから費用が出されるということはないでしょうか。ヘルメットを着用するとなると、五、六千円はするのかなと思ってまして、なかなか皆さんに行き渡るのは難しいのかなと思ひまして、そういう補助とかはあるのかなと思ひました。

○村田副区長

副区長の村田です。いつもお世話になっております。

先ほど区長が申し上げましたとおり、自由になるお金というのが非常に少ないというのが現状でございまして、ヘルメット着用が努力義務になりましたので、できるだけ着用していただきたいという気持ちはたくさんございます。でもお金がございませ

んで、皆さんに補助制度というのを、そこまでの予定はございません。

ただ、前回の区政会議でもあったと思うんですけども、自転車のマナーは非常に課題かなというふうには考えてございますので、そのマナーの啓発につきましては、大正区役所としては積極的に行っていきたいなというふうに思います。

○終委員

ありがとうございます。

○竹村議長

ほかにどなたかございませんか。

大石委員さん。

○大石委員

すみません、大石です。この予算のほうで地域防災・防犯対策事業という金額、今現在850万ですか、これは多いか少ないかというのは私も判断は苦しむんですけども、ただ、この予算の中で各避難所の云々、資材であるとかということ表現されていますが、これ現実的に話すると、昨年11月のときに避難所の設置というか、置いてくれてはる乾電池、全てアウトだったんです。前にもそれに似たようなことをほかの会議で話した記憶があるんですけども、物を置いたらそれで終わりじゃないと。正直言って、発電機は欲しいですよ、どうしても要りますよねということで発電機を置いていただいた。発電機と燃料とエンジンオイル、発電機が動く状態のものは用意をしていただいた。でも、明るくなりませんよねという。そういうような感じで、1つの物が、電池だったら10年とか15年とかで期限が切れるわけなんで、それはある程度チェックしていただいて入れ替えてもらわないと、何かのときに、あそこ乾電池あるから使えるよと言ったら全部アウトだった。災害が起きたときに電気屋さんに行くって言ったってとても難しいと思うので、そういうことも含めて、もう少し実務のほうで考え方を改めてもらえたらなと思うんですけどね。

○中務防災防犯担当課長

申し訳ございません、防災担当の中務でございます。

電池につきまして、大石委員おっしゃるとおり使用期限が切れておりまして、早急に各避難所へ新しい電池を入れさせていただいたんですけども、防災備品につきましては、訓練等々でどんどん使っていただいて、その中で潰れたような物があれば、もちろんこれは大阪市の備品になりますので、大阪市のほうで修理なり、あるいは買い替えなりというのを、あくまでもこれは予算の範囲ですけども、やらせていただくことになると思います。電池の件につきましては、申し訳ございませんでした。

○大石委員

訓練で使うというお言葉が今出たんですけども、以前の台風災害のときに避難所で毛布であるとか、水であるとかというのはもちろん鶴町で使わせていただいて、その後すぐに補充していただいたということはどううれしかったんですけども、訓練で備蓄品を使おうかというのはなかなか踏み切れないんですよ。事後決裁でいいのか、事前了解を得なあかんのか、どちらなのでしょうね。訓練で電池使うよとか、ラジオ動かすよというふうな意味合いのものがね。

○中務防災防犯担当課長

電池ということと言いますと、消耗品でございますので、訓練で使っていただいて、なくなった分についてはまた補充ということになるかと思えます。

○竹村議長

大石委員さん、よろしいですか。

○大石委員

はい。

○竹村議長

それでは、時間に限りがありますので、発言できなかった意見は、後日、御意見シートにて提出をお願いいたします。

それでは、これをもちまして議題2を終了させていただきます。本日も大変貴重な

御意見をいただいたと考えます。この意見をもとに運営方針の策定に生かしていただきたいと思います。

それでは、次の議事に移らさせていただきます。

議題 3、令和 5 年度大正区事業・業務計画書（案）について、区役所から説明をお願いいたします。

○大津区政企画担当課長

それでは、議題 3、令和 5 年度大正区事業・業務計画書（案）について御説明をいたします。

事前に送付しております書類番号 3、令和 5 年度大正区事業・業務計画書（案）抜粋版一覧、及び書類番号 4、区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答を御準備ください。資料のほうはよろしいでしょうか。

事業・業務計画書につきましては、単年度ごとの年間の業務を明確化し、日々事業の進捗管理を行うこと、また実施事業の成果を最大限に引き出すことを目的に作成のほうをしております。

今回、令和 5 年度の主な事業を抜粋した一覧を委員の皆様事前に送りました。内容のほうは御確認いただいておりますかと思うんですけども、いただいた御質問に対する回答につきましては、書類番号 4 の 5 ページにおきまして書面にて行っておりますことから、詳細な説明については割愛をさせていただきます。回答に対する御不明点や再度の疑問等がございましたら、御意見、御質問をよろしく願いいたします。

以上になります。

○竹村議長

それでは、令和 5 年度大正区事業・業務計画書につきまして、何か御質問、御意見はございませんでしょうか。

石田委員さん。

○石田委員

すみません、冒頭のやつでここの災害の件を言っちゃったんですけど、ネットワーク自体はD X化、言葉を選ぶと、通信環境を整えてインフラ整備して、お金はかかるんですけど、それを一番最初から取り組むことで、必要な労力を割かなくていいというのは容易に想像できるなと思ったんですけど、予算もあるのでというのは理解していますので、あえてここを掘り返すということもないのかなと思いつつも、やっぱりなと思って書きました。

あと、認知症サポーター養成講座は僕も実際受けてまして、オレンジのリストバンドをつけて、今日はつけてないですけど、そういうときもあります。ここら辺というのはどちらかというと、地域に出向いて、正しく理解し、養成講座の開催に向けて働きかけを行っていますっていう回答をいただいているんですけど、僕が受けたときは、こちらからお願いしますと、自分が認知症サポーターになりたいです、だからお願いしますという形で依頼をしてやっとしていただいた、認知症サポーターになれましたという経緯があったんで、そういうことを考えて、どんどん認知症サポーターというのは増えたほうが僕はいいと思うので、こういうのを地域で活性化させていこうと思ったら、もう企業に出向いたほうがいいのではないかという1つの案を書かせていただきました。

開催について働きかけを行っていくというよりかは、より重要性を問うた上で、半ば地域の取組ですと、そういった形で広く認知症サポーターを実務的に増やしていくという段階まで行ったほうが、今度の日頃の見守りの活動体制であったり、ネットワーク化、例えば予算の関係上D X化できない、そういったところを補えるのではないかなといったところでこういった意見を書かせていただきましたので、またいろいろと御検討をよろしくお願いします。

○竹村議長

ほかにどなたか御意見ございませんか。

角元委員さん。

○角元委員

私から事前に質問した内容はもうこちらで理解してまして、ですけど、事業・業務計画書（案）の抜粋版というのを見てまして、これは6ページの取組番号20ですね。大正区民の平均寿命・健康寿命は大阪市と比べて短いつて書いているんですけども、大正区というのはその割に区民の平均の年齢というのがどんどん上がっていつて、でも平均寿命が短いんやっつていうのは、原因として実際何やっつたのかなということを追求というか、そういうことは考えないんでしょうかということが、空気が悪いとかかっつていうことを一時期言われてましたけども、今もそうなのか、大分環境としては変わってきたのかなというふうには思うんですが、もしかしたらこれがヒントになって、大正区自体の平均の健康寿命が上がってきたんで住みやすいですよということになれば、私の年代の人が「住みやすいんや、じゃあ住もうや」というふうになるのかなと思っつたんで、一番気になりました。そこをどういうふうにしていきたいとか、今後の取組としてイメージがあるのであれば、何か教えていただきたいなと思っつています。

○嶋原保健福祉課長

すみません、保健福祉課長の嶋原です。

御意見ありがとうございます。ここでも書かせてもらっつている生活習慣病であっつたり、その関係の率についても大正区は高い部分があり、飲酒であっつたり、たばこの喫煙率も少し市に比べて高いというところもあっつたりしますので、そのところは1つの要因になっつているのかと思っつるところもあります。そういうところにつきましても、啓発が必要というところにはなっつてくると思っつますので、取り組んでいきたいと思っつます。もちろんここを出てますがん検診等もそうですけども、できるだけ多くの方に受けてもらっつて、もちろん区役所でやっつているだけではなくて、各医療機関でもされていっつる部分もあります。それに対する補助の関係もあっつたりしますので、そういうところを含めて、まずは取り組んでいくということが1つ要素となっつていくのかと思っつて

おります。

○角元委員

ごめんなさい、一番平均寿命が高い区って何区とかって御存じですか。何が違うんやろうなと思ったんですけど、平均寿命とか健康寿命が高い区と大正区が何が違うんやろうなと。僕らとかでも、この会議とかが終わったら食事でも行こうやっていうノリで結構気軽に飲酒を伴うことを、食事をするということが健康寿命を縮めるということがあるんやったら今後行かないほうがええのかもしれないし、とか、たばこを吸っている人がやたら多いとか、もちろんポイ捨てとかも掃除してたらすごい落ちてるんで、ただそれは区民の人だけではないと思うんですけど、ほかの区と比べてたばこを吸ってる人がめっちゃ多いとか、そういうのが大阪市でのデータ化とか、そういうのがされているのかなというふうに。大阪市と比べて短いということを書かれているのであれば、そういうデータも出ているのかなというふうに思いまして、教えていただきたいです。

○嶋原保健福祉課長

男性では最も高くなっているのが天王寺区、2番目が北区、3番目が中央区、女性につきましては北区が最も高く、2番目が阿倍野、3番目が住吉区となっております。

実際いろいろな要因はもちろんあるかとは思いますが、先ほど申し上げました部分は、たばこの喫煙率にしましても大正区はちょっと高いというのが、実際に率が出ております。もちろんたばこを吸われている事が全てというつもりはないですけども、やはり1つの要因ではあるのかと。それと、健診等もできるだけ受診率を高くしていくということは、早期発見・早期治療というところにつながっていくと思います。やはりがんになる率というのは日本の中でも高いというところもあります。そこは早期発見で治療につながるということもあると思います。そういうところを含めて、ここにも書かせてもらっているようなところをできるだけ啓発していくことで、大正

区自体の健康寿命であったり、そういうところを上げていけたらと考えております。

○角元委員

ありがとうございます。

○竹村議長

ほかにどなたか御意見。

姉川さん。

○姉川委員

角元委員の意見というか、それにたきつけてなんですけど、医療機関に勤めている者として、もうちょっと健診を受けてもらわなあかんのになかなか上がらないというのも、うちも実はそうでした、どれだけ健診の受診率を上げるかというのは勤めてからずっと課題であって、港区に勤めていたときは区のほうとも懇談をして、どうやったら上がるんかなというのも懇談したりしていました。1つ、地域の方に何で健診受けないんですかって聞いてよく言われるのが、病気が見つかるのが怖いからってというのが結構多かったです。僕もあまり受けたくないんですけどね、でも受けなあかんからね。

その中で、じゃあどうしたら受けてもらえるんかなっていう話をしたときに、見つかるのが怖いということは健康診断を受けること自体が怖い、だから健康診断は怖いものではなくて、楽しく生きていくための1つのツールみたいな感じの広報の仕方のほうが、がんが見つかります、早期発見はいいことやけども、見つかったら見つかったでそれは怖いことなので、気分も落ち込むし、そういうのが受けるのをためらう1つの要因なのかなと。なので、ぜひ楽しく健診を受けましょうみたいな、そういうPRのほうがいいんじゃないかというのは地域の方からよく聞いたり、健診を推進してくれている人なんかはそういうふうに言っているので、区役所ももっと明るくしてくれたりいいのになとか言ってましたので、そういうアイデアがあればぜひやってもらえたらなと思います。

あともう一つ健診のことで、寿命が短いというので、1つSDHってあるじゃないですか、健康の社会的決定要因。生まれた地域とか国とか、家庭とか、その格差によって寿命も変わってくるということを言われているので、やっぱりまちをよくしていく、独居というのも一番寿命が縮む要因の1つであったりするので、独居の方が地域とつながるとか、そういうまちづくり、ソフトな部分も含めた健康寿命の延ばし方とか、そういうのが1つ手段としてはあるのかなと思いました。

以上です。

○石田委員

石田です。姉川さんのところに付け加えると、特定健診受診率の目標値を30%にされているんですけど、今の話を聞くと、もうちょっと高く目標を持ってもいいのかなっていうふうに思いました。しかも、これは令和7年度の話なので、大分先でも30%、今20%やからあと10%で30%というよりかは、もうちょっと高い目標値のもとで、健康診断だったり病気に対するブランディングというのを大正区のほうで取り組んでいただけたらいいんじゃないかなと思いました。ありがとうございます。

○竹村議長

角元委員さん。

○角元委員

お二人ありがとうございます、補足していただいて。それにちょっと付け加えたいと思ったのが、最近のライフホームさんが出した「2023年みんなが探した！住みたい街ランキング」というのが上がってて、それもほんまにうれしかったんですけど、大正区が第3位なんですよね。住みたいって思っている人がそれだけおるのに、平均寿命が大阪市より下ですよってというのは、ちょっとたまらんなと思って、住んでめっちゃ死ぬん近いんちゃうんみたいなふうになったら嫌なんで、健康診断とかそういうところをもっと明るくするって姉川さんがおっしゃったし、石田さんも付け加えたんですけど、パーセンテージを上げるとか、そういう見せ方というのも相乗効果と

して必要かなと思いますので、せっかく思っている人が、大阪外の人かもしれないし、市内の人かもしれないけど、何かポテンシャルに気づいて、あのまちおもしろそうやなっていうふうになってきているというデータだと思うので、そこをどんどん生かしてプラスに変えていただきたいなというふうに思いました。もちろん我々もそれはやりますので。

以上です。

○竹村議長

堀江委員。

○堀江委員

その特定健診っちゅうのは、区から我々に来とる大きい封筒で受けてるということですか。サラリーマンの方は会社でやってるからこれに入らんわけですか。あれ60歳かな、65歳やったかな。

○嶋原保健福祉課長

特定健診は40歳からです。

○堀江委員

40歳からですか。自営の方は40歳の方から。

○嶋原保健福祉課長

国民健康保険の方ですね。

○堀江委員

無料で来るやつですか。5人に1人しか。例えばね、我々の年代でも、僕も医者、月1回ぐらい血圧のもらいに行く。そのときにみんな行けるように考えたら、あるでしょ、持ってきなさいよって。血採るだけですわな、極端に言うたら。レントゲンね、ちょっとあるから、痛いのはそれぐらいですわ。だから、医者の方と連携して、医療のほうはどこでかかっているかというのは、個人情報やから分からんかどうか知りませんが、こんなん健康保険証か何かで分かるんちゃうんかな、今。そこを反対に病院へ

持っていったときや、来たときにどうですと、今度は御飯食べんと来てやって言うだけのことじゃないんですか。僕はそういう程度の認識ですけど。御飯食べて行っても血糖値がたまたま上がるだけのことでしょ、それも必要ですわな。空腹時ばかり測らんと。

○姉川委員

そうですね。

○堀江委員

そうでしょ、そういうことでしょ。そうやからもっと簡単にね、5人に1人以上健康保険使ってますやろ、絶対に。と思いますので、何かええ方法を考えたら。

○竹村議長

ほかにどなたかございませんか。

土井委員さん、何かございませんか。

○土井委員

すみません、パスで。

○竹村議長

大石委員さん。

○大石委員

堀江さんの話と一緒に、今40歳以上に特定健診の配付いただいているって、私はまだ一度も受けたことないんです。その罰が当たったのか、64歳で大腸がんが見つかって、ちょん切って今に至っているわけですけど、その手術の後は、主治医との話で年に2回特定健診以上の検査を個人的に受けてあるんで、そういうような人口も結構いてはる。定期的に病院に通ってはる人というのは、特定健診よりも若干精度の高い検査をしていたら、ドクターが言いますもん、「大石さん、受けんでええよ」って。うちでやってる検査のほうがちゃんと結果を全部データをとってあるんで、特定健診では通り一遍の検査しかないからねということはおっしゃる。皆さんの全部にそ

れが通じるかどうかというのは別なんですけど、そういう人もいてるということで、それだけ大正区はかかりつけ医に通っている高齢者が多いのかなと思ったりするんですけどね。

○竹村議長

北川委員さん。

○北川委員

北川です。最初から将来ビジョン、次に運営方針とか、切磋琢磨していろいろ区から出していただいて、それに若い新鮮な頭でいろいろな質問をされて、それに回答もつけていただいて、ずっと聞いておったんですけども、我々とは大分年も離れてますし、感覚が違うなという感覚なんですけれども、私が去年、話も変わりますけども、前々回ぐらいに、大正区役所の前は停止ラインも交通安全に対しても全然なっていないというようなことを言うたんですが、最近見たら右折ライン、左折ライン、停止ライン、きれいにされてます。あと三軒家の交差点がまだできていません。あと言えるのは、各地域にある一方通行の停止ラインも全部消えているところはたくさんあります。そういうところも、この中の防犯、防災にもありましたけども、こういうのも徐々に直していただいて、実際に目に見えてここきれいになったなど、私よく車で走ってますので、ここのとこ今まで右折はどの辺で止まったらいいのかな、三角のひし形のラインのとこまで行かなあかんということは分かっているんで、そのひし形のラインもなくなっているという形で、それで最近すごくこの前はきれいになっております。

それと、先ほど堀江委員さんも言ったんですけど、PTAとは違って連合会長もいろいろあったんですけど、三東さんはすごく堀江さんが頑張っているいろいろなことをやっておられるんですが、各町会長の件は三東さんの意見ですね。三東さんだけの思っていることですね。

○堀江委員

僕の意見は三東の、よその内容まではあれですけど、話としてはそうかなという。

○北川委員

我々三西については、町会長は何か言うたら全員集まっています。全てみんな頑張っていてやっています、いろいろなとこでね。何かあったらすぐに全員集まってやっております。

それと、全然話変わりますけども、電池とかの話も出たと思うんですけども、我々は電池を使ってやっているのは、歳末警戒のときにいつも電池を使っています。だけど、やってすぐ電池を抜いてます、来年まで。ということをする、本当に長もちします。つけたままではすぐにわいてまうんですよ。だから、配達があったときには、その場で電池は電池、空は空で置いて、歳末警戒のときに事前に集まって電池を入れたりしてやっておりますので。

それと、ここにもあるんですけど、一応、今までは十分参考になっております。どうもありがとうございました。

○竹村議長

ありがとうございます。

それでは、時間に限りがございますので、発言できなかった意見は、後日、御意見シートに提出をお願いいたします。

それでは、これをもちまして議題3を終了させていただきます。本日も大変貴重な御意見をいただいたと考えます。この内容をもとに来年度の区政運営に生かしていただきたいと思っております。

その他の事項について、区役所から御意見ございませんか。

○大津区政企画担当課長

それでは、委員の皆様からいただきました事前質問・意見に対する回答ということで、その他意見・御質問ということで、姉川委員のほうから質問をいただいておりますので、その御回答を説明させていただきます。

書類番号4の6ページを御覧ください。姉川委員のほうからトンボロマルシェなん

ですけれども、2023年4月以降も開催されますかという御質問がございましたが、引き続き社会実験を実施する予定でございます。時期や内容につきましては、現在調整中でございます。

それでは次に、書類番号6なんですけれども、来年度の区政会議の日程について御説明をさせていただきます。

お手元に書類番号6、令和5年度大正区区政会議日程（予定）を御用意ください。

それでは、令和5年度の大正区区政会議の日程について御説明をさせていただきます。令和5年度の大正区区政会議におきましても、年4回の開催を予定しております。まず1回目なんですけれども、令和5年6月22日の木曜日、18時30分から20時30分、第2回目につきましては、令和5年9月14日の木曜日、18時30分から20時30分、場所につきましては、またあらためてその都度御報告をさせていただきます。

3回目、4回目が未定となっておりますけれども、来年度、区政会議委員の改選の年になっておりまして、何名か任期満了の委員がおられます。

来年度の区政会議委員につきましては、前回、南委員からも御指摘がありました、子育て世代のお父さん、お母さんとかを入れたらどうかというようなお声も踏まえて募集等も考えておりますので、直前になりますけれども、3回目、4回目の日程については新たな委員が決定次第あらためて御報告させていただきます。1回目、2回目まではこのメンバーで開催させていただきますので、御予定のほうをよろしく願います。

私のほうからは以上です。

○竹村議長

ありがとうございます。

本日予定されている議題は以上で終了させていただきます。

皆様には、議事進行に温かい御理解と御協力を賜り誠にありがとうございました。

これにて議長を下ろさせていただきます。ありがとうございます。

○大津区政企画担当課長

竹村議長、ありがとうございました。

それでは、本日の配付資料の中に御意見シートがございますので、本日の会議で御発言できなかったこととございますとか、本日の御議論を踏まえまして、改めて御意見や御質問がございましたら、御記入の上、2月27日の月曜日までに御提出をお願いいたします。

それでは、本会議の結びに当たりまして、区長の古川より御挨拶を申し上げます。

○古川区長

今年度1年間の長期にわたる大正区将来ビジョンの御議論、本当にありがとうございました。今日まで繰り返し意見交換をさせていただいたおかげで、一定の御理解もいただいたと思いますし、区民の皆様、そして我々自身もいろいろなことに対して着目が増え、そして理解も深まったというふうに思っております。皆様の御議論のおかげです。本当にありがとうございました。

そして、今日は将来ビジョンだけではなく、予算の枠組みについてもとてもよい意見交換ができたと思っております。本当に御質問ありがとうございました。

そして、図らずも展開していったのが健康への取組、これは皆様の意見が区政の方向性、こうしてほしいという方向性をかなり決めるものになりつつあるなと思っていたので、私、本当に今日は得るものがあったなと思っております。姉川さんのおっしゃっていたSDHにも着目しながら、これは健康度の決定要因だと思いますけど、これは非常にばらつきがあって、大正区の要因レベルが低かったりしたら何か考えていかなきゃいけないなと思ったり、角元委員おっしゃっていただいたように、住みたい街ランキングの上位なのに長寿のまちじゃないのねって言われるのも、それも随分しゃくに障りますので、やはりその辺しっかり、広報を含めて健康診断の受診等、いろいろな方法があると思っておりますので、考えていきたいと思っております。それから目標

値についても、受診率などいろいろ設定させていただいておりますけど、それと実際の健康との関係とか、また我々も研究していきたいと思っております。その他、安全安心、防災備蓄品、地域活動、様々な御議論をいただきました。本当にありがとうございました。

今年度はこれを持ちまして区政会議を閉じてまいりますが、また新たな将来ビジョンをもとに、皆様とともに新しいビジョンの計画期間を一步ずつ歩んでいきたいと思っております。引き続き、区政への御協力をどうぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

○大津区政企画担当課長

では、これを持ちまして本日の区政会議を閉会とさせていただきます。

次回の区政会議は6月22日木曜日、18時30分より、すみません、先ほど場所はあらためて報告すると言いましたが、今回は大正区民ホールで開催いたしますので、御出席のほどよろしくお願いいたします。

本日は遅くまで誠にありがとうございました。